

## 「コラボが新しい可能性を拓く」

12月8日～10日、東京ビッグサイトで2016年エコプロダクツ展が開催された。

弊社(株)ミヨシフロンティアの仕入先の山梨県の会社が出展することによって、私はお手伝いに入った。3日間、ほぼ立ちっぱなしで接客した。さすがに疲れたが、同時に嬉しい出会いがあった。それはお客さんというより、斜め前の出展者(NPO法人)との出会いだった。竹を竹炭にする簡単な炭化炉と竹炭を展示していた。

現在、中山間地域では竹と間伐材の利用が大きな課題になっている。弊社の菜園生活セットは間伐されたヒノキを使っている。間伐材が商品化されて販売できれば、間

伐の費用を賄うことができる。一方竹は山裾から山の頂上に向かって登っていき、木々を倒していく。竹を伐採するためには費用がかかる。現状では竹酢液、竹炭などにして商品化が図られている。ただ用途が限られているのが課題だ。この簡単な炭化炉を使えば手間をかけずに竹を炭化できる。その分コストも安い。コストが下がれば大量に使える。来年は屋上菜園でも市民農園でも竹炭を使ってみたい。土壌微生物の活性化、抗菌・消臭効果、さらには雑草の抑制効果も期待できそうだ。展示会最終日、同法人との今後の協力関係を理事長と確認し合った。出展者同志のコラボができる。これも展示会の楽しみの一つだ。

代表理事 阿部義通

## 12月の菜園活動報告

### ◆ 三井住友海上火災保険(株)の屋上菜園 ◆ 冬野菜収穫!!

三井住友海上火災保険(株)の屋上菜園では冬野菜の収穫が始まっています。菜園利用者のある方は一時発生した病害虫に「秋冬野菜の栽培は難しい」と暗い表情を見せていましたが、今では被害も収まり、笑顔で野菜を収穫しています。ある区画では、直径15cmにもなるろうかという真っ白なカリフラワーが収穫できました。12月中に白菜も収穫です。



三井住友海上火災保険(株)の屋上菜園全景

### ◆ 北千住ルミネ屋上菜園 ◆

ルミネ保育園の子ども達と園長さん、保育さん達と一緒に12月6日にはサトイモ掘り、そして12月20日には大根とカブを収穫しました。ダイコンはミニ大根と聖護院大根、カブは赤カブとカブ。

土の深さは20cmです。今年はたくさん収穫できましたので、大きなビニール袋4つに入れて、みんなで保育園に持って帰りました。園長さんの話では屋上菜園で収穫した野菜は園児に渡しているとのこと。家に帰って、子ども達はどんな話をしているのでしょうか。



## 部会 報告

### 「えごまはライフスタイル」

「えごま油」がブームとなっています。えごま油に多く含まれる油脂「オメガ3」は私たちの体の重要な組織、細胞膜や神経の構成物質であるとともに、他の油脂の短所を打ち消す特質があり、増加している生活習慣病に対し予防効果があることがわかってきました。オメガ3を多く含むえごま油の人気からえごまの生産も増えつつありますが、生産は小規模な場合が多く、機械化も進んでおらず、中国や韓国製と比較すると価格もかなり高くなっています。それでも国産のえごま油は人気で品薄状態が続いています。

最近「オーガニックライフスタイル展」を見学する機会がありました。そこには化学合成農薬や肥料使わない食材や衣料品だけでなく、再生可能エネルギーや地方への移住提案などもされており、「オーガニック」は「ライフスタイル」を表現する言葉としても使用されているようでした。

えごまの生産から消費に至るサイクルも、単なる生産と消費というバラバラの関係でなく、健康で健全な生き方を求める人々が生産にもこだわり、信頼できる生産者のえごまを求めるといって「オーガニックなライフスタイル」といえるのではないのでしょうか。

えごま部会 伊藤 純一

## リレーエッセイ

### 個人情報を守るのは誰か？

戸村 修

あなたは「エゴサーチ」という言葉をご存知だろうか？！

Wikipediaによると「インターネット上で、自分の本名やハンドルネーム、ブログ名等で検索して自分自身の評価を確認する行為のこと」である。一度あなたも“あなた”のことを調べてみては如何か？！あなたが意識しなくても、書き込まなくても、いつの間にかあなたの個人情報がネット上に書き込まれている可能性がある。それは必ずしも、あなたを誹謗中傷することが目的ではなく、友達だから良いよね、という気安さで書かれたりするのである。

今この情報社会の中において最低限あなたが出来ることは、あな

た自身が個人情報をどこまで出すのか、という意識を常に持つことである。更には、情報端末に対してOS等ソフトのアップデートとウイルス対策ソフトを埋め込むというのが最低限の大切な対策と言える。これは自分の為でもあり友達の大事な情報を世の中に流出させてしまわない為でもある。

かくいう筆者もかつてGメールのパスワードを破られ、メールをばら撒かれた実績を持つ。その時はウイルスメールでなくて助かったが、決して他人事と思わないで欲しい。

一方、貴重な個人情報を預かる法人も個人と同様に情報漏えい防止の意識を常に持つことが大切である。特に平成29年春に施行予定の「改正個人情報保護法」は小規模事業者だからという逃げが出来ず、遵法の“覚悟”と“安全対策”が求められることを覚えておこう。

## JVEC 関連ニュース

### ■マンスリーニュース リニューアル打ち合わせ

12月7日、JVEC マンスリーニュースの今後のスムーズな発行のために、高瀬、阿部、丸原の3人で打ち合わせを持ち、編集方針を確認し、分担を決めました。今後は毎月10日を発行日としました。マンスリーニュースは全会員にメールで送付されますが、今後は情報セキュリティの観点からBCCで送付することにします。

### ■新会員入会のお知らせ

川本町のエゴマ農家の柴原信行さんがこのたびJVEC 会員になりました。ビジネスマンをやめて島根県川本町に新規就農農家として移住し、現在エゴマ栽培に取り組んでいます。今後地方の会員とのコミュニケーション、打ち合わせのツールとして「スカイプ会議」などを検討していきたいと思えます。

## 1月の予定

### □神田ワインプロジェクト

神田ワインプロジェクトの件で、山梨県の白百合醸造の責任者が上京して、神田ワインプロジェクトのチームと打ち合わせし、栽培候補地を視察する予定です。現在栽培候補地は三井住友海上火災保険本館屋上菜園、ちよだプラットフォームスクエア屋上菜園および某旧中学校校庭の3ヶ所。栽培品種も1月中に決定する予定です。

### □竹もりの里の竹の炭化実習見学

竹炭の利用を進めている千葉県長南町のNPO 法人竹もりの里の竹の炭化実習見学を予定です。また竹炭の農業利用を進めているNPO法人蔵前バイオエネルギーとも情報交換する予定です。竹炭は野菜の根張りを促し、うどん粉病などにも効果があると言われています。竹堆肥(島根県川本町産)と併せて竹炭(千葉県長南町産)を屋上菜園で使って効果を確かめていきたいと思えます。